



前進

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎修学旅行に行ってきました。

10月20(金)・21日(土)に大野小学校と合同で長崎方面に修学旅行に行ってきました。修学旅行は小学校生活最後の学年の大きなイベントであり、子供も早くから楽しみにしていました。

出発時は雨模様でしたが、長崎に着いた頃は概ね雨もやみ、滞りなく見学・学習を行うことができました。

特に平和学習では、昨年度も本校の6年生に被爆経験を語ってくださった森内さんが今年も担当してくださいました。原爆が落下された昭和20年8月9日以降の長崎の様子を子供たちに語りかけるように、分かりやすく話してくださいました。お話を聞きながら核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを実感できたと思います。被爆体験をされた方々もご高齢になり、これからお話を直接伺える機会も限られてくることと思います。6年生にとっては貴重な機会となったことでしょう。

楽しかったホテルでも宿泊を終えて、2日目はハウステンボスを楽しみました。たくさんのアトラクションを体験するのは難しかったようですが、班行動で日常と異なる世界を楽しんでいました。

今回の修学旅行に際し、「参加した全員が楽しかったと言える修学旅行にしよう。」と子供たちに話をしました。皆が時間を守り、集団での行動も適切でした。大野小学校の友だちを含めて、全員の思い出に残った修学旅行になったことと思います。



◎今年も「つなしのお祝い」をいただきました。

今年度も芦北町更生保護女性会の皆様から4年生の子供たちに「つなしのお祝い」をいただきました。「つなし」とは、ひとつ・ふたつ・・・このつといった「つ」の文字が10歳になると無くなることを意味しています。これまでの成長と、成人式の半分に至ったこと（現在は18歳から成人ですが）をお祝いして下さいました。朝から餅をつき、



全員に配っていただきました。お渡しになるときは「地域みんなが皆さんの成長を見守っていますよ。」とありがたいお言葉をいただきました。

◎人権教育ブロック研修会

11月2日（木）に、佐敷中ブロックの人権教育研究会を本校で実施しました。1年1組と6年1組のクラスで授業を実施しました。子供たちは素直な考えや思いを発表していました。人権教育の視点からも大野小・佐敷中との連携を深め、9年間を見据えた子供たちの育ちを見据えていきたいと思えます。



◎まつぼっくり いっぱい拾ったよ。

11月14日（火）に、1年生は大野小学校に出かけ、子供たちとの交流やまつぼっくり拾いなどを楽しんできました。「同級生の名前を覚えてくるんだよ。」という出発前の私の話をしっかり覚えており、「〇〇ちゃんと遊びました。」と笑顔で報告に来てくれた子供もいました。



【校長室から】今回ご紹介ができませんでしたが、たくさんの地域の方に支えられて練習した4年生の音楽発表会、2年生の肥薩おれんじ鉄道体験、5年生の「水銀に関する出前講座」など、たくさんの行事がありました。また、11月11日（土）は熊本県PTA研究大会芦北・水俣大会も開催され、多くの保護者にも参加いただきました。充実した2学期がおくれています。インフルエンザ・新型コロナウイルスの感染予防にも配慮しながら、2学期残りも子供たちの成長に尽力していきたいと思えます。